6 オリジナルマップの座標系変換

「野外調査地図」では座標系「WGS84」を使うようになっているので、オリ ジナルマップの座標系が「JGD2000」などの場合、座標系を変換します。 異なる座標系の地図を表示させようとすると、大きくずれるか、表示され ない。



座標系は地図の表示に必要な共通言語のようなもの

「再投影(warp)」による座標系変換

<u>O</u>)	ラスタ(<u>R</u>) データベース(<u>D</u>)	Web(<u>W</u>) メッシュ(<u>M</u>) プロセシング(<u>C</u>) ヘル	
	🔠 ラスタ計算機	a 📘 💷 🔿 🔁 🛛 🔍	坐標糸の変換はQGISの標準
	ラスタを揃える		機能である「ワープ(再投影)」
	井 ジオリファレンサ		で行います
	解析	•	
	投影法	▶ 🚳 投影法の割り当て	上部メーユーより フスタ」→
	その他	▶ @ 投影法を抽出	「投影法」→「再投影(warp)」
	抽出	▶ 🦉 再投影(warp)	を選択。
	変換	+	

「入力レイヤ」に作成した「オリジナルマップ」を指定。 「変換元CRS」に、変換元の座標系を指定。 「ラスタのCRS(オプション)」に出力するファイルの座標系を指定。

Q 再投影 (warp) X				
パラメータ ログ				
入力レイヤ	座標を変換する元ファイルの指定			
F soukenbase_JGD 🛛 💦				
変換元CRS [オプション]	座標を変換する元ファイルの座標系の指定			
EPSG:2454 - JGD2000 / Japan Plane Rectangular CS XI	I 🔹 🔹			
ラスタのCRS [オプション]	出力ファイルの座標系の指定			
デフォルトCRS: EPSG:4326 - WGS 84	 ▼ 			
リサンプリング法				
最近傍(Nearest Neighbour)	•			
出力バンドのnodata値 [オプション]				
未設定				
変換先CSRの単位での解像度 [オプション]				
未設定				
▶ 詳細パラメータ				

- ・ボックス下部「再投影したラスタファイル」右端の「…」のスイッチを押し、 「ファイルを保存」をクリック
- ・「ファイルを保存」ボックスが開くので「保存先、ファイル名、ファイルの 種類」を指定し保存形式を設定。
- ・ファイル名はその後の取り扱いを考え、内容、座標系が分かりやすい 名前にする。雑に指定せず目的をもって指定。

し/②職場関係/②研修業務/⑩R3年度専門研修/森GISR3/森林GIS/soft&data/GisData/soukenbase_wgs.tif	一時ファイルに保存			
	ファイルに保存			
(ファイル名の例)				
良くない例:「1234.tif」「abcd.tif」「Test.tif」 → ファイルの内容や座標系がファイル名で推測できない				
→ ファイルの内容や作成年度、座標系が推	」しやすい。			
GDAL/OGR コンソールコール				
gdalwarp -s srs EPSG:2454 -t srs EPSG:4326 -r near -of GTiff "LY2Q戰場關係¥¥②研修業務¥¥@R3年月	度専門研修¥¥森 調研修(本opepu)本			
GLSR3#¥森林GLS#¥sott&data#¥GIsData¥¥soukenbase_JGD.tit L:/②職场関係/②研修美扮/@R3年度専門研修/森GLSR3/森 林GLS/soft&data/GisData/soukenbase_wgs.tif				
0%	キャンセル			
バッチプロセスで実行…」 ほじる	5 117			

「実行」ボタンを1回クリックすると変換開始、インジケーターバーが反応します。エラーが即座に出る場合は設定が間違っています。主に座標参照系の設定、指定ファイルのスペルミスなどが多く見られます。

あせらない(重要!)

変換には少し時間がかかります。また、変換終了後「ログ」画面に切り替わるので、「閉じる」を押して変換終了。

「パラメータ」画面に切り替えた場合、「閉じる」ではなく「実行」を選択すると 再び同じ処理が始まります。途中で画面を閉じるとファイルの破損など発 生するので、そのまま処理が終わるまで待ち、「閉じる」で変換作業絵御終 了してください。